

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	出勤途中に踏切遮断機の遮断桿を折損した事案
3. 体験した事例の中心的要素	ガス漏洩事故に出勤途中、大型水そう車が踏切を通過する際、遮断機が下りたため停止線で一旦停車し、列車通過後、遮断機が上がりきると同時に車両を発進させ踏切内に入りました。その直後に、警報機が鳴り始め、速やかに通過しようとしたが、車両と遮断機が接触し、遮断桿(しゃだんかん:グラスファイバー製の竿)を折損させたもの。
4. 体験した事例の原因・理由	夜間に貨物列車等の往来が激しく、遮断機が上がり数秒後に警報音が鳴り出す特異な事例を認識できなかった。

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	
------------------	--

【体験した事例について】



1. 発生日時	令和5年2月3日 午前1時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外:踏切線路内
4. 体験した事例の種類	
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	交通事故
7. 事例体験時の活動	その他:ガス漏洩現場
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他:出勤途上
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[28]歳、勤続年数[8]年、現場経験年数[8]年、階級[消防士] 同様の活動[初めて]、任務[機関員]
○当事者B	年齢[48]歳、勤続年数[29]年、現場経験年数[24]年、階級[消防司令補] 同様の活動[初めて]、任務[その他:小隊長]
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[] 同様の活動[], 任務[]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生時の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	大型水そう車の機関員で遮断機が下りたため停止線で停車した。	
経過2	当事者B	遮断機が下りたため、車両を誘導するために下車した。	
経過3	当事者A	列車通過後、遮断機が上がりきると同時に車両を発進させた。	
経過4	当事者B	遮断機が上がりきると同時に徒歩で先行して線路内に進入した。	
経過5	当事者A	車両を進入させると同時に警報音が鳴り出し速やかに車両を前進させた。	
経過6	当事者B	踏切の退出側に移動して速やかな車両移動を促した。	
経過7	当事者A	踏切の退出付近で車両右側後部に遮断桿が接触した折損させた。	
経過8	当事者B	二次災害防止のため、安全確認を実施後、折損した遮断桿を線路内から回収した。	
経過9	当事者A	安全な位置に停車、車両から下車して事故を現認した。	
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思えるか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思えるか？

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなくてはならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

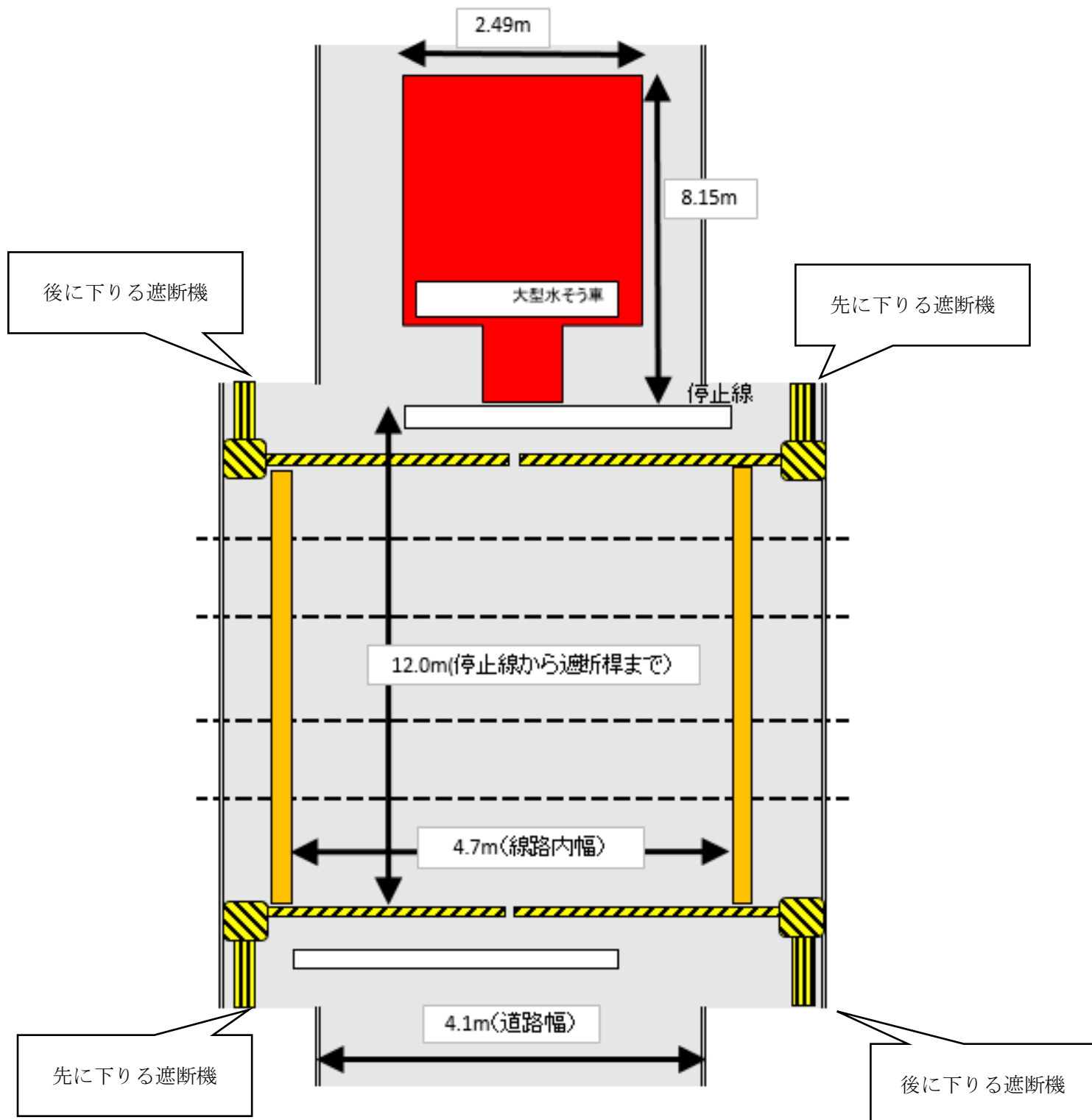
○活動環境の対策について

--

○指揮・情報伝達の対策について

--

車両及び踏切等の寸法



遮断機が車両に接触したイメージ図



現場写真

